

【File No. 1 | ヒトツバタゴ自生地 ひとつばたごじせいち】



標高が高いため花の見ごろは6月中旬

東濃地方では、田植えが始まると、遠くから見ると雪を被ったように美しい木があちこちに見られるようになる。これがヒトツバタゴ。モクセイ科の落葉高木で、日本では対馬と愛知県、県内の木曾川周辺の限られた地域にしか自生していない珍しい木で、ナンジャモンジャなどと呼ばれて親しまれている。

中でも、笠置山中腹、標高約737mの登山道沿いにあるヒトツバタゴの巨木は、日本一標高の高い所にあり、1923(大正12)年、本州で最初に国の天然記念物に指定された。市内には、天然記念物に指定された他にも多くのヒトツバタゴが見られるが、日本では、環境省が絶滅危惧Ⅱ類に指定している希少種。ハナノキやシデコブシなどとともに、地域固有の植物として大切にしていきたいものである。

ひとロメモ

ヒトツバタゴの発見や保護には、地元の二人の先人が関わっている。一人は笠置山の自生地を発見したとされる山岡町の後藤定治郎、もう一人は、当時の「史蹟名勝天然紀念物保存法」の公布に尽力した岩村町出身の三好学。この地域の自然保護の歴史は深い。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影: 笠置町)

といだ よしひこ
笠置町 樋田慶彦さん



毛呂窪に住んでいて良かったと思える場所の一つです。眺めがいいのでドライブついでにどうぞ。毛呂窪から河合に抜ける道で眺めることができます。

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募ください!



恵那山

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで企画課広報広聴係へ提出する。

次号は
6月15日号

発行日は
6月14日(金)です



広報えな No.198

2013年(平成25年)
6月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』6月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約9.0円(税込み)です。



市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

□問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

